

生化学分野の概要

研究内容紹介

生理活性脂質は、膜のリン脂質から刺激に応じて産生され、近傍細胞の特異的受容体(GPCR)に作用してシグナルを伝えます。炎症、がん、神経伝達等のメディエーターとして重要です。(右図参照)

当分野では、生理活性脂質の生体機能の解析を目標として、リン脂質代謝やGPCRからのシグナル解析を中心に研究を進めています。

研究課題例

- がん幹細胞の制御と微小環境
- 炎症と生理活性脂質
- 脳内神経伝達物質の産生制御
- ショウジョウバエの発生・分化とリン脂質代謝
- 質量分析計を用いたプロテオーム解析

特別コース

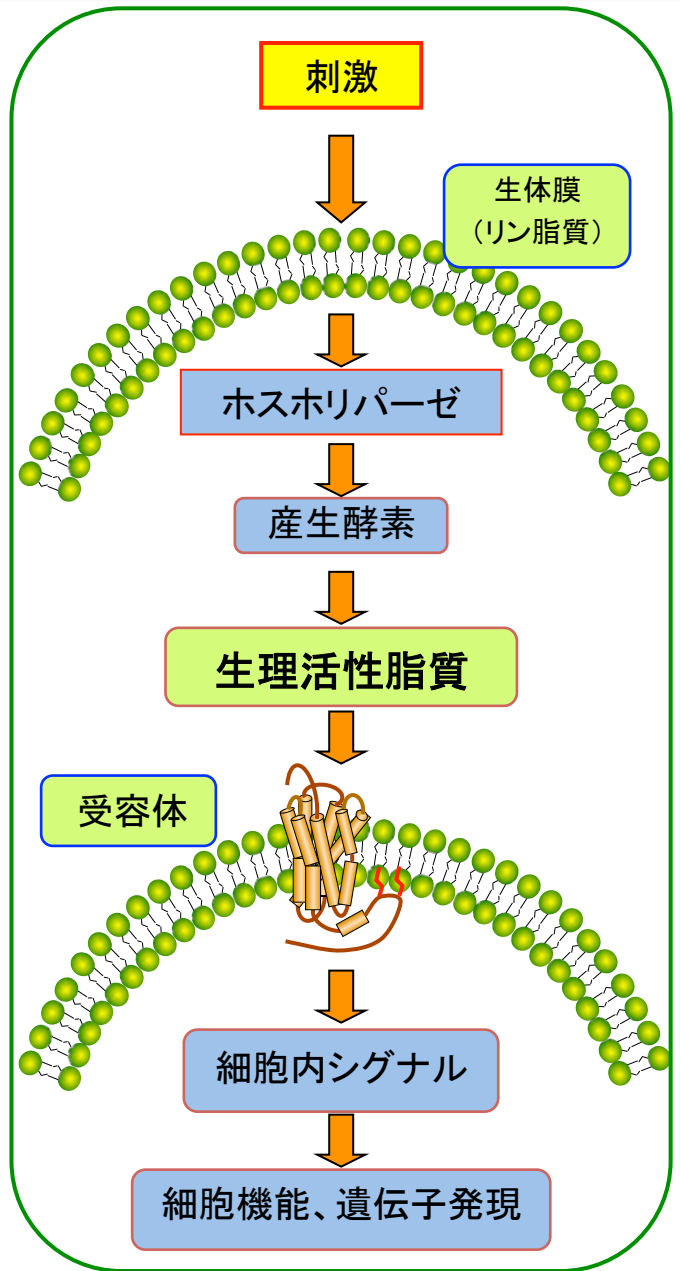
当分野は、以下の特別コースを担当しています。

- 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム
- がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「がん医療開発研究指導者コース(基礎)」

連絡先

教授: 和泉孝志 (Takashi Izumi)、メール: takizumi@med.gunma-u.ac.jp
電話: 027-220-7940、場所: 基礎医学棟2F、部屋番号: MA2-39

研究テーマ: 生理活性脂質の産生と作用



研究手法には、生化学、分子生物学、細胞生物学等を用いています。全ての大学院生が、細胞、DNA、タンパク質、脂質を扱うことが出来るように配慮しています。